



まちづくり・コミュニティ

町会・自治会

防犯・防災・みまもり

こども

教育

シニアライフ

健康

スポーツ

芸術・文化・趣味

環境

ふくしとサポート

NPO・ボランティア

国際交流

男女共同参画

農業・商工業

[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > 「東久留米歴史散歩（三） 鎌倉街道（落馬橋）」

東久留米市には小金井街道、所沢街道といった道がありますが、きょう紹介するのは鎌倉街道です。

鎌倉街道は「鎌倉に通じる道」のことで鎌倉往還、鎌倉道とも言われ、源頼朝の鎌倉時代に鎌倉と各地を結ぶ道としてつくり整備されました。その中でも、特に尾張、美濃、飛騨、越中以東に多くありましたが、時代が過ぎて廃道になり正確なルートがわからない箇所も多くあります。



落馬橋（おちばばし）

関東では「上の道」「中の道」「下の道」の三つの街道がありましたが、東久留米市と関係があるのは「上の道」です。

この道は「武蔵路」とも呼ばれ、鎌倉から化粧坂（けわいざか、鎌倉市）を越えて、今の藤沢市、横浜市、町田市、多摩市、府中市、国分寺市、東村山市を経て信濃、越後へと続く道でした。府中で上の道と中の道はつながりましたが、東久留米市は上の道そのものには面していませんでした。上の道につながる支道があったと考えられますが、残念ながら正確な場所はわかっていません。しかしながら、それをしのばせる場所があります。それが左の「落馬橋（おちばばし）」です。

橋は久留米高校通りの黒目川に掛けられています（幸町、小山）。前沢宿から久留米高校通りに続く旧小金井街道が、鎌倉街道の一つではなかったかと私は考えています。

落馬橋は鎌倉街道をやってきた武士が、ここで落馬して果てたためとも、また、武士がここで休息し、みごとな落葉を眺めて感じ入ったためとも言われています。

鎌倉街道は、鎌倉時代に幕府の御家人が有事の際に「いざ鎌倉」と頼朝の元にはせ参じた道です。鎌倉幕府の倒幕に立ちあがった新田義貞は、上野国（群馬県）新田から、鎌倉街道を通して鎌倉に攻めのぼったと言われています。

鎌倉時代の武士は江戸時代の武士のように城下に住んでいなかったのでいざという時、自分の館から鎌倉にむかうこれらの鎌倉街道は大変重要な道でした。鎌倉街道も頼朝の幕府成立から滅亡までは重要な道でしたが、幕府がなくなり鎌倉の重要性が少なくなるとともに消滅していきました。

市民記者「浅羽芳久(南町 在住)」

参考図書「東久留米市文化財資料集」（第九集 地名編）